

7月2日（水） 15:00-16:00

第1会場（北海道大学学術交流会館 2階 講堂）

基調講演

【モデレーター】 田中 伸哉（北海道大学大学院医学研究院 腫瘍病理学教室）

- K 変革するがん研究・がん創薬.....40
間野 博行
国立がん研究センター研究所

7月2日（水） 16:00-16:30

第1会場（北海道大学学術交流会館 2階 講堂）

教育講演 1

がん光免疫治療法最前線

【モデレーター】 矢野 聖二（金沢大学・医薬保健研究域医学系呼吸器内科学）

- EL1 がん光免疫治療法最前線.....42
小川 美香子
北海道大学 大学院薬学研究院

7月2日（水） 16:30-17:00

第1会場（北海道大学学術交流会館 2階 講堂）

教育講演 2

ベンチャーエコシステムの利用

【モデレーター】 秋永 士朗（NANO MRNA（株））

- EL2 Venture Ecosystem とがん創薬.....42
大堀 誠
東京大学協創プラットフォーム開発株式会社

7月3日 (木) 9:00-9:30

第1会場 (北海道大学学術交流会館 2階 講堂)

Year in Review 1

老化とがん～セノリティクス～

【モデレーター】 清宮 啓之 (公益財団法人がん研究会がん化学療法センター分子生物治療研究部)

- YIR1 細胞老化とがん～セノリティクスとセノモルフィクス～43
 大谷 直子
 大阪公立大大学院 医学研究科 病態生理学

7月3日 (木) 9:30-11:50

第1会場 (北海道大学学術交流会館 2階 講堂)

シンポジウム 1

分子標的治療薬を支持するがんゲノム病理診断の現状

【モデレーター】 竹内 賢吾 (公益財団法人がん研究会がん研究所)
 高阪 真路 (国立がん研究センター研究所)

- S1-1 病理医が支えるがんゲノム医療-がん遺伝子パネル検査の精度向上に向けた病理部門の役割47
 外岡 暁子^{1,2}
¹公益財団法人がん研究会がん研究所 病理部
²公益財団法人がん研究会 有明病院 病理部
- S1-2 病理形態学と AI を融合した分子標的治療適格がん患者選抜の試み47
 藤井 誠志
 横浜市立大学大学院医学研究科・医学部 分子病理学
- S1-3 大規模データ時代に立ち向かう新たながんゲノム創薬研究48
 高阪 真路
 国立がん研究センター 研究所 細胞情報学分野
- S1-4 正常乳管上皮から乳癌にいたるクローン進化の歴史48
 西村 友美^{1,2}
¹日本赤十字社 福井赤十字病院 外科
²京都大学大学院医学研究科 乳腺外科学
- S1-5 分子パターンに基づく肺がん層別化に向けた空間オミクス解析49
 鈴木 絢子
 東京大学 大学院新領域創成科学研究科

7月3日 (木) 12:00-13:00

第1会場 (北海道大学学術交流会館 2階 講堂)

ランチョンセミナー 1-1

乳癌の最新治療とゲノム医療の展望

【モデレーター】 高橋 将人 (北海道大学病院 乳腺外科)

- LS1-1 乳癌の最新治療とゲノム医療の展望
 尾崎 由記範
 がん研究会有明病院 乳腺内科

【共催】 日本イーライリリー株式会社

7月3日 (木) 13:35-14:20

第1会場 (北海道大学学術交流会館 2階 講堂)

鶴尾隆賞受賞講演

【モデレーター】 木村 晋也 (佐賀大学医学部内科学講座 血液・呼吸器・腫瘍内科)

- T 細胞老化におけるマイクロ RNA の機能解析による抗腫瘍核酸医薬の開発140
田原 栄俊
広島大学 大学院医系科学研究科 細胞分子生物学研究室

7月3日 (木) 14:20-16:40

第1会場 (北海道大学学術交流会館 2階 講堂)

シンポジウム 2

分子標的治療創薬最前線

【モデレーター】 藤田 直也 ((公財)がん研究会 がん化学療法センター)
山田 忠明 (京都府立医科大学大学院 呼吸器内科学)

- S2-1 バイスペシフィック抗体と次世代抗体創薬-多様化する技術の融合と展望50
安永 正浩
国立がん研究センター 先端医療開発センター 新薬開発分野
- S2-2 染色体外 DNA (ecDNA) を標的にしたがん治療開発50
鈴木 洋¹
¹名古屋大学 大学院医学系研究科 分子腫瘍学
²糖鎖生命コア研究所
³One Medicine創薬シーズ開発・育成研究教育拠点
⁴稲盛科学研究機構
- S2-3 ミトコンドリアを標的とした抗がん剤開発の理想と現実51
川田 学
(公益)微生物化学研究会 微生物化学研究所 第1生物活性研究部
- S2-4 pan-RAF 阻害薬の開発状況51
衣斐 寛倫
愛知県がんセンター研究所 がん標的治療TR分野
- S2-5 抗体薬物複合体治療の進展と課題52
米阪 仁雄
近畿大学医学部腫瘍内科

7月3日 (木) 9:00-9:30

第2会場 (北海道大学学術交流会館 1階 小講堂)

Year in Review 2

慢性骨髄性白血病における無治療寛解維持と免疫環境

【モデレーター】 木村 晋也 (佐賀大学医学部内科学講座 血液・呼吸器・腫瘍内科)

- YIR2 慢性骨髄性白血病の無治療寛解維持達成と免疫環境.....43
 嬉野 博志
 佐賀大学 医学部 創薬科学共同研究講座

7月3日 (木) 9:30-10:00

第2会場 (北海道大学学術交流会館 1階 小講堂)

Technology Seminar 1

二重特異性抗体

【モデレーター】 川田 学 (公益財団法人微生物化学研究会 微生物化学研究所 第1生物活性研究部)

- TS1 二重特異性抗体技術を用いた抗体医薬品開発.....45
 三田村 圭祐
 協和キリン株式会社

7月3日 (木) 10:00-10:55

第2会場 (北海道大学学術交流会館 1階 小講堂)

ワークショップ 1

薬剤耐性・感受性①

【モデレーター】 矢野 聖二 (金沢大学 医薬保健研究域医学系呼吸器内科学)

- W1-1 HER2 異常がんにおける AXL-SHC1 シグナルを介した HER2 阻害薬の初期抵抗性機構.....60
 石田 真樹¹、片山 勇輝¹、安本 和生²、堀中 真野³、酒井 敏行³、山田 忠明¹
¹京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学
²金沢医科大学腫瘍内科学
³京都府立医科大学大学院医学研究科 創薬医学
- W1-2 乳がん細胞株における小胞体ストレス下での HER3 を介した HER2 活性抑制.....60
 大塚 美紅^{1,2}、岡本 有加^{1,3}、富田 章弘¹
¹公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部
²東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻
³東大医科研 ヒトゲノムセンター シークエンス技術開発
- W1-3 EGFR 変異肺癌における EGFR V834L compound 変異による EGFR 阻害薬 Afatinib 耐性.....61
 南條 成輝、木場 隼人、矢野 聖二
 金沢大学附属病院 呼吸器内科
- W1-4 Phosphatase release による新たな EGFR キナーゼ活性阻害戦略.....61
 中山 淳
 大阪国際がんセンター研究所 腫瘍増殖制御学部
- W1-5 FLT3-ITD 細胞外ドメイン変異による FLT3 キナーゼ阻害薬耐性.....62
 片山 和浩
 日本大学・薬学部・分子標的治療学研究室

ワークショップ 3

薬剤耐性・感受性②

【モデレーター】 西原 広史 (慶應義塾大学医学部がんゲノム医療センター)

W3-1 FAK は ATL においてステロイド構造を持つクルビタシン D に対する耐性獲得に重要である.....65

王 鐸¹、吉田 安宏²¹産業医科大学 産業生態科学研究所 放射線衛生管理学²産業医科大学 医学部 免疫学・寄生虫学

W3-2

parthenolideの抗腫瘍効果の検討

ゲムシタビン耐性膀胱における

65

傳田 悠貴、松尾 洋一、野々山 敬介、村瀬 寛倫

名古屋市立大学 大学院医学研究科 消化器外科

W3-3 大腸癌治療抵抗性細胞に特異的に誘導される因子の同定と、その阻害による再増殖抑制.....66

コッポ ロベルト、井上 正宏

京都大学大学院医学研究科クリニカルバイオリソース研究開発講座

W3-4 プロテアソーム阻害剤耐性に寄与するストレス応答性キナーゼ EIF2AKs の機能解析66

井上 靖道¹、李 政樹²、森下 大輔³¹名古屋市立大学 大学院薬学研究科 細胞情報学²名古屋市立大学 大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学³Chordia Therapeutics株式会社

W3-5 転写因子 SOX10 は RXRG 発現を調節し、悪性黒色腫の Ferroptosis 感受性を制御する。67

横山 悟、石塚 葉奈、周 越、櫻井 宏明

富山大学 大学院総合医薬学研究科 がん細胞生物学

ランチョンセミナー 1-2

EGFR 遺伝子変異陽性肺癌治療のPrecisionの現在地

【モデレーター】 山田 忠明 (京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学)

LS1-2 EGFR 遺伝子変異陽性肺癌治療の Precision の現在地

南條 成輝

金沢大学附属病院 呼吸器内科

【共催】 アストラゼネカ株式会社

Technology Seminar 2

化学反応経路自動探索法AFIRを駆使した新薬開発

【モデレーター】 永澤 秀子 (岐阜薬科大学)

TS2 反応経路自動探索法を駆使した化学反応の設計と発見：分子医薬品開発への新技術.....45

前田 理

北海道大学 化学反応創成研究拠点

7月3日 (木) 14:50-15:45

第2会場 (北海道大学学術交流会館 1階 小講堂)

ワークショップ 5

浸潤・転移

【モデレーター】 小根山 千歳 (愛知県がんセンター研究所・腫瘍制御学分野)

- W5-1 上皮間葉転換によるがん細胞の遊走亢進には FGFR1-RSK 経路を介した EphA2 Ser-897 リン酸化が必須である69
周 越、横山 悟、櫻井 宏明
富山大学 大学院総合医薬学研究科 がん細胞生物学
- W5-2 SUSD2 は膀胱がん細胞の integrin-FAK 経路を増強して転移を促進する70
吉田 潤次郎¹、大石 智一^{1,2}、立田 大輔¹、大庭 俊一²、百瀬 功²、川田 学¹
¹微生物化学研究所 第1生物活性研究部
²微生物化学研究所 沼津支所・動物施設
- W5-3 接着確立過程における活性化キナーゼ阻害による転移抑制効果の評価70
佐藤 友美¹、井上 正宏²
¹福島医大 医学部 基礎病理
²京大院 医学研究科 クリニカルバイオリソース研究開発講座
- W5-4 転移性大腸がんの幹細胞性における RhoA/B/C の役割71
青木 正博^{1,2}、武藤 誠³、藤下 晃章¹
¹愛知県がんセンター研究所 がん病態生理学分野
²名古屋大学大学院医学系研究科 がん病態生理学分野
³京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構(iACT)
- W5-5 プラズマ照射による血行性転移の抑制71
久富 寿
成蹊大学 理工学部

7月3日 (木) 15:45-16:35

第2会場 (北海道大学学術交流会館 1階 小講堂)

ワークショップ 7

がん幹細胞・不均一性

【モデレーター】 三森 功士 (九州大学病院別府病院)

- W7-1 ALDH1A3 は細胞外マトリクス制御により残存胃がん腫瘍の薬剤抵抗性がん微小環境の構築に関わる74
馬島 哲夫¹、李 珍^{1,2}、中村 彩音^{1,3}、清宮 啓之^{1,2,3}
¹(公財)がん研・がん治療セ・分子生物治療
²東大・院・新領域・メディカル情報生命
³明治薬科大・院・生命創薬科学
- W7-2 大腸がん細胞の可塑性を制御する仕組みの解明75
川崎 善博^{1,2}、近藤 英作¹、秋山 徹²
¹関西医科大学 附属光免疫医学研究所
²東京大学 定量生命科学研究所
- W7-3 **がん幹細胞性関連 ovarian cancer long intergenic noncoding RNA 1は解糖系を制御して卵巣がん進展に寄与する** 75
堀江 公仁子¹、井上 聡^{1,2}
¹埼玉医科大学 医学部 ゲノム応用医学
²東京都健康長寿医療センター 研究所 システム加齢医学
- W7-4 線維芽細胞との相互作用を標的とした新規化合物によるすい臓がん幹細胞様細胞の増殖抑制76
立田 大輔¹、雨宮 昌秀¹、吉田 潤次郎¹、大石 智一^{1,2}、川田 学¹
¹微生物化学研究所 第1生物活性研究部
²微生物化学研究所 沼津支所

7月3日 (木) 10:00-10:55

第3会場 (北海道大学学術交流会館 1階 第1会議室)

ワークショップ 2

光線力学・細胞死／老化

【モデレーター】 衣斐 寛倫 (愛知県がんセンター がん標的治療 TR 分野)

- W2-1 アズレンを組み込んだ BODIPY 系近赤外吸収光熱変換剤の開発と抗腫瘍効果62
中村 浩之^{1,2}、三浦 一輝^{1,2}
¹東京科学大学 総合研究院 化学生命科学研究所
²東京科学大学 生命理工学院
- W2-2 Photochemosis: 近赤外光線免疫療法の細胞死機序解明63
佐藤 和秀^{1,2,3,4}
¹名古屋大学大学院医学系研究科
²名古屋大学高等研究院
³医工連携ユニット907
⁴JST-創発研究者
- W2-3 H3.3 の発現抑制は p53 依存的に細胞老化を誘導する63
山本 佑樹、高橋 陵宇、田原 栄俊
広島大学大学院 医系科学研究科 細胞分子生物学
- W2-4 トランスフェリンとフェリチンは腫瘍の細胞周期を異なる時相で制御する64
柳谷 稜^{1,2}
¹佐賀大学 医学部 創薬科学共同研究講座
²大阪大学 微生物病研究所 感染腫瘍制御分野
- W2-5 休眠がん細胞標的薬剤の細胞死誘導メカニズムの解明64
宮本 康太郎¹、門之園 哲哉¹、近藤 科江^{1,2}
¹東京科学大学 生命理工学院
²奈良工業高等専門学校

7月3日 (木) 10:55-11:45

第3会場 (北海道大学学術交流会館 1階 第1会議室)

ワークショップ 4

核酸医薬・ペプチド医薬・薬効評価

【モデレーター】 坂本 一樹 (大鵬薬品工業株式会社)

- W4-1 頭頸部扁平上皮がんを標的とした新規核酸医薬開発67
澤野 賢太、高橋 陵宇、山本 佑樹、田原 栄俊
広島大学 大学院医系科学研究科 細胞分子生物学研究室
- W4-2 化学修飾型 microRNA-143 リポプレックスによる子宮頸がん治療の検討68
土橋 裕允¹、有馬 純²、猪俣 陽介²、赤尾 幸博³、谷口 高平⁴
¹大阪医科薬科大学 医学部 産婦人科学教室
²大阪医科薬科大学 医学部 一般・消化器外科学教室
³e-NA Biotec
⁴大阪医科薬科大学 医学部 トランスレーショナルリサーチ部門
- W4-3 経口投与可能な環状ペプチド LUNA18 による RAS の直接阻害を介した抗腫瘍効果68
佐瀬 仁志¹、道坂 沙貴²、飯倉 仁³、田中 浩²
¹中外製薬株式会社 TR本部 プロジェクト推進部
²中外製薬株式会社 研究本部 創薬薬理第二研究部
³中外製薬株式会社
- W4-4 BIG3-PHB2 相互作用標的架橋型ペプチドの長期抗腫瘍効果の解明69
吉丸 哲郎^{1,2}、松下 洋輔¹、内山 圭司¹、片桐 豊雅¹
¹医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所
²徳島大・先端酵素学研究所・ゲノム医科学

7月3日 (木) 14:50-15:45

第3会場 (北海道大学学術交流会館 1階 第1会議室)

ワークショップ 6

発がん機構・がん遺伝子・がん抑制遺伝子

【モデレーター】 近藤 亨 (北海道大学 遺伝子病制御研究所 幹細胞生物学分野)

- W6-1 トリセルラータイトジャンクションによる癌化上皮細胞の遊走・浸潤抑制の機構解明.....72
中津 大貴、西尾 和人
近畿大学 医学部 ゲノム生物学教室
- W6-2 がん治療ターゲットとしての EphA2-NF : デコイ受容体としての役割.....72
池田 一貴、越川 直彦
東京科学大学 生命理工学院
- W6-3 *FGFR1* 発現の抑制を介したダブルネガティブ前立腺癌に対する RUNX ファミリーの包括的制御戦略.....73
増田 達哉¹、渡部 隆義¹、尾崎 俊文¹、杉山 弘²、上久保 靖彦¹
¹千葉県がんセンター 研究所 発がん制御研究部
²京都大学高等研究院 物質-細胞統合システム拠点
- W6-4 PTBP1 標的 microRNA による発がん機構の制御.....73
谷口 高平¹、猪俣 陽介²、有馬 純²、赤尾 幸博³
¹大阪医科薬科大学 総合医学研究センター TR部門
²大阪医科薬科大学 一般・消化器外科学教室
³株式会社 e-NA Biotech
- W6-5 膠芽腫幹細胞における GICF1 の機能解析.....74
トウ シンシン
北海道大学 遺伝子病制御研究所 幹細胞生物学分野

7月3日 (木) 15:45-16:40

第3会場 (北海道大学学術交流会館 1階 第1会議室)

ワークショップ 8

ゲノム・リキッドバイオプシー・ドライバー (臨床系)

【モデレーター】 南 陽介 (国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科)

- W8-1 染色体コピー数解析から同定した B4GALT3(beta-1,4-galactosyltransferase 3)は乳癌ドライバー遺伝子である。.....76
渋田 祥平¹、増田 隆明²、三森 功士¹
¹九州大学病院別府病院 外科
²高知大学医学部乳癌・内分泌外科
- W8-2 トリプルネガティブ乳癌の癌幹細胞性に焦点を当てた分子標的治療の探究.....77
山下 奈真、上野 貴之
がん研究会有明病院 乳腺センター 乳腺外科
- W8-3 EGFR 変異肺癌における術後 ctDNA と病理学的静脈侵襲の包括的解析による再発予測.....77
村瀬 裕哉、木場 隼人、南條 成輝、丹保 裕一、矢野 聖二
金沢大学附属病院 呼吸器内科
- W8-4 全ゲノムシーケンス解析による胆道癌の遺伝子変異特性とバイオマーカーの探索.....78
國料 俊男
名古屋大学 大学院医学系研究科 腫瘍外科
- W8-5 日本人向け CHIP パネルの開発とリキッドバイオプシーによる外部検証.....78
池 成基、南 陽介
国立がん研究センター東病院・血液腫瘍科

7月4日 (金) 9:00-9:30

第1会場 (北海道大学学術交流会館 2階 講堂)

Year in Review 3

免疫チェックポイント阻害剤

【モデレーター】 片桐 豊雅 (医薬基盤・健康・栄養研究所)

- YIR3 免疫チェックポイント分子による T 細胞制御機構の解明44
 岡崎 拓
 東京大学 定量生命科学研究所

7月4日 (金) 9:30-11:50

第1会場 (北海道大学学術交流会館 2階 講堂)

シンポジウム 3

科学者ダイバーシティシンポジウム

【モデレーター】 小川 美香子 (北海道大学 大学院薬学研究院)
 櫻井 実香 (中外製薬株式会社研究本部バイオ医薬研究部兼トランスレーショナルリサーチ本部プロジェクト推進部)

- S3-1 IAP アンタゴニスト-IAP ペアの Bump & Hole 変化による新しいタンパク質分解系52
 佐藤 和佳¹、横尾 英知²、出水 庸介²、内藤 幹彦¹
¹東京大学大学院 薬学系研究科 タンパク質分解創薬社会連携講座
²国立医薬品食品衛生研究所 有機化学部
- S3-2 三次元細胞培養技術 invivoid を用いて作製した 3D 共培養モデル53
 横川 由麻^{1,2}、高橋 祐生^{1,2}、内堀 健³、西尾 誠人³、片山 量平^{4,5}、藤田 直也⁶
¹TOPPANホールディングス株式会社 総合研究所
²公益財団法人 がん研究会 がん化学療法センター 臨床部
³公益財団法人 がん研究会有明病院 呼吸器内科
⁴公益財団法人 がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部
⁵東京大学大学院 新領域創成科学研究科
⁶公益財団法人 がん研究会 がん化学療法センター
- S3-3 GPx4 と MEK の共阻害によるフェロトシス誘導を介した膵がんの抑制53
 ショウ キ、園下 将大
 北海道大学 遺伝子病制御研究所 がん制御学分野
- S3-4 膵臓がんにおけるがん関連線維芽細胞の不均一性54
 新城 恵子、西村 建徳、近藤 豊
 名古屋大学 大学院医学系研究科 腫瘍生物学
- S3-5 新規 FGFR1-3 選択的阻害剤タスグラチニブの FGFR2 融合遺伝子陽性胆管癌における抗腫瘍活性の解析54
 渡辺 沙里
 エーザイ株式会社
- S3-6 脳腫瘍幹細胞の宿主環境応答と代謝因子によるニッチ制御55
 サンベトラ オルテア
 慶應義塾大学 ヒト生物学-微生物叢-量子計算研究センター
- S3-7 腫瘍内皮細胞と癌関連血栓症55
 樋田 京子
 北海道大学 大学院歯学研究院 血管生物分子病理学

ランチョンセミナー 2-1

がんゲノム医療Up to date

【モデレーター】 北野 滋久 (がん研究会有明病院 先端医療開発科)

LS2-1 がんゲノム医療を踏まえた胆道癌診療の未来像
ー本邦での FGFR2 融合遺伝子の発見とタスルグラチニブ発売までの軌跡ー柴田 龍弘^{1,2}¹東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター ゲノム医科学分野²国立がん研究センター研究所 がんゲノムミクス研究分野

【共催】 エーザイ株式会社

特別講演

【モデレーター】 後藤 典子 (金沢大学がん進展制御研究所)

SP がん組織の空間情報の多様性とその解釈.....41

石川 俊平^{1,2}¹東京大学 大学院医学系研究科 衛生学分野²国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野

シンポジウム 4

産学連携シンポジウム 研究シーズ・マッチアップ札幌ラウンド

【モデレーター】 川田 学 (公益財団法人微生物化学研究会 微生物化学研究所 第1生物活性研究部)

吉村 千穂子 (大鵬薬品工業株式会社 研究本部 創薬薬理研究所)

S4-1 タンパク質の N 末端特異的なバイオコンジュゲーション技術.....56

小野田 晃

北海道大学大学院地球環境科学研究院

S4-2 新規 Pan-RUNX 阻害剤 (Chb-M¹) を用いた直接的及び間接的 AML 制御戦略.....56上久保 靖彦¹、増田 達哉¹、杉山 弘²¹千葉県がんセンター研究所発がん制御研究部²京都大学高等研究院 物質-細胞統合システム拠点

S4-3 ミトコンドリア DNA 標的抗がん治療薬.....57

永瀬 浩喜

順天堂大学 大学院医学研究科 難治性疾患診断・治療学

S4-4 フレームシフトネオアンチゲンを標的とした二重特異性抗体の開発.....57

清谷 一馬^{1,2}、中村 祐輔¹¹医薬基盤・健康・栄養研究所 難病・免疫ゲノム研究プロジェクト²がん研究会 がんプレジジョン研究センター 免疫ゲノム解析Gr

評価者 (コメンテーター)

江崎 正浩 協和キリン株式会社

山本 暁彦 エーザイ株式会社

豊田 晃子 第一三共株式会社

櫻井 実香 中外製薬株式会社

森 文隆 大鵬イノベーションズ合同会社

八代 好司 MSD株式会社

宮崎 和城 大原薬品工業株式会社

森下 大輔 Chordia Therapeutics株式会社

片田 江舞子 Infinite CORE株式会社

松井 久典 シコニア・バイオベンチャーズ株式会社

上野 博之 京都大学イノベーションキャピタル株式会社

二見 崇史 ANベンチャーパートナーズ

7月4日（金） 9:00-9:30

第2会場（北海道大学学術交流会館 1階 小講堂）

Year in Review 4

核酸医薬・mRNA医薬品

【モデレーター】 田原 栄俊（広島大学 大学院 医系科学研究科）

YIR4	がん治療薬としての mRNA 医薬の可能性.....44
	秋永 士朗
	NANO MRNA（株）

7月4日（金） 9:30-10:00

第2会場（北海道大学学術交流会館 1階 小講堂）

Technology Seminar 3

がんゲノム検査とプレジジョンメディスン

【モデレーター】 豊嶋 崇徳（北海道大学大学院医学研究院 血液内科学教室）

TS3	がんゲノム検査とプレジジョンメディスン.....46
	南 陽介
	国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科

7月4日（金） 10:00-11:26

第2会場（北海道大学学術交流会館 1階 小講堂）

若手アンビシャスセッション

【モデレーター】 高木 聡（公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部）
小林 祥久（国立がん研究センター研究所・分子病理分野）

AS-1	分化誘導療法に基づく骨肉腫の新規治療法開発の可能性.....58
	高木 聡 ¹ 、竹内 誠 ^{1,2} 、小池 清恵 ¹ 、竹本 愛 ¹ 、片山 量平 ¹
	¹ （公財）がん研究会・がん化学療法センター・基礎研究部
	² 徳島大学大学院医歯薬学研究部 運動機能外科学
AS-2	治療抵抗性の素地となりうる腫瘍内不均一性の解析.....58
	宮田 憲一 ^{1,2} 、丸山 玲緒 ^{1,2}
	¹ 公益財団法人がん研究会 がん研究所 がんエピゲノム研究部
	² NEXT-Gankenプログラム
AS-3	パーシスターがん細胞の運命決定機序を標的とした治療戦略の開発.....59
	加藤 真一郎 ^{1,2}
	¹ 京都大学がん免疫総合研究センター
	² 名古屋大学
AS-4	MET 遺伝子の発がん性の探索.....59
	小林 祥久
	国立がん研究センター研究所 分子病理分野

7月4日(金) 12:00-13:00

第2会場(北海道大学学術交流会館 1階 小講堂)

ランチョンセミナー 2-2

白血病治療における分子標的薬の位置づけ

【モデレーター】 照井 康仁(埼玉医科大学 血液内科)

LS2-2 白血病治療における分子標的薬の位置づけ

近藤 健

愛育病院 血液病センター

【共催】大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部

7月4日(金) 14:05-14:35

第2会場(北海道大学学術交流会館 1階 小講堂)

Technology Seminar 4

蛍光バイオイメージングを基盤とした光診断薬の創出

【モデレーター】 園下 将大(北海道大学 遺伝子病制御研究所)

TS4 蛍光バイオイメージングを基盤とした光診断薬の創出.....46

大場 雄介^{1,2}¹北海道大学医学研究院細胞生理学教室²HILO株式会社

7月4日(金) 14:35-15:30

第2会場(北海道大学学術交流会館 1階 小講堂)

ワークショップ 12

スフェロイド培養・オルガノイド・PDX

【モデレーター】 照井 康仁(埼玉医科大学病院 血液内科)

W12-1 がん幹細胞スフェロイド形成阻害剤の発見と作用機序解析.....84

松井 美由希¹、池田 拓慧¹、坂井 和子²、西尾 和人²、井本 正哉³、掛谷 秀昭¹¹京都大学大学院_薬学研究科²近畿大学大学院_医学研究科³順天堂大学大学院_医学研究科

W12-2 3D 共培養スフェロイドアッセイ系を用いた海洋生物由来抗腫瘍がん活性化合物の探索.....85

チェ ウェリン¹、中村 文彬^{2,3}、中尾 洋一²¹早稲田大学院先進理工研究科²早稲田大学理工学総合研究所³UssioBIO株式会社

W12-3 合成高分子ハイドロゲルを用いた白血病新規治療標的分子の探索.....85

小田 義崇¹、津田 真寿美^{1,2}、王 磊^{1,2}、田中 伸哉^{1,2,3}¹北海道大学大学院医学研究院腫瘍病理学教室²北海道大学化学反応創成研究拠点³北海道大学病院病理診断科

W12-4 日本人がん患者由来 PDX ライブラリーの構築と品質管理体制の確立.....86

濱田 哲暢

国立がん研究センター 研究所 分子薬理研究分野

W12-5 大腸癌における胎児様リプログラミングの分子機構と病理的意義の解析.....86

今城 正道¹、田中 伸哉²¹北海道大学 化学反応創成研究拠点²北海道大学大学院 医学研究院 腫瘍病理学教室

ワークショップ 14

RAS・ERK経路

【モデレーター】 片山 量平 (公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部)

- W14-1 KRAS の局在変化による増殖シグナルの切り替え**89
丸山 航平¹、片山 量平^{1,2}
¹(公財) がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部
²東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻
- W14-2 KRAS G12C 変異陽性非小細胞肺癌前臨床モデルにおいて WEE1 阻害は Sotorasib の効果を
増強する**90
山本 岳^{1,2}、大橋 紹宏¹
¹国立がん研究センター 先端医療開発センター
²北海道大学大学院医学院呼吸器内科学教室
- W14-3 KRAS G12D 変異陽性腫瘍における KRAS G12D 阻害薬の治療抵抗性機構の解明**90
澤田 凌¹、片山 勇輝¹、堀中 真野²、酒井 敏行²、山田 忠明¹
¹京都府立医科大学大学院医学研究科呼吸器内科学
²京都府立医科大学大学院医学研究科 創薬医学
- W14-4 panRAS G12C 阻害剤としてのソトラシブ**91
田中 伯享
愛知がんセ
- W14-5 ERK-RSK 経路を介した非定型的 EphA2 活性化に対するアロステリック SHP2 阻害剤の効果**91
櫻井 宏明¹、周 越¹、横山 悟¹、矢野 聖二²
¹富山大学大学院総合医薬学研究科がん細胞生物学
²金沢大学医薬保健研究域医学系呼吸器内科学

7月4日 (金) 9:25-9:58

第3会場 (北海道大学学術交流会館 1階 第1会議室)

ワークショップ 9

薬剤スクリーニング・評価

【モデレーター】 森下 大輔 (Chordia Therapeutics 株式会社)

- W9-1 消化管がんに対する新規分子標的医薬品開発を目指した TMEPAI 結合化合物の探索**79
古館 顕弥¹、中野 なおこ¹、長田 裕之^{2,3}、伊東 進¹、田代 悦^{1,4}
¹昭和薬科大学 生化学研究室
²理化学研究所 環境資源科学研究センター
³微生物化学研究所長田ユニット
⁴理化学研究所 生命医科学研究センター
- W9-2 化学発光プローブ LISA-103 を用いた新規 GGCT 阻害剤スクリーニング法の樹立と plumbagin の同定**.....79
谷口 恵香¹、堀中 真野¹、中田 晋²、酒井 敏行¹
¹京都府立医科大学 大学院医学研究科 創薬医学
²京都薬科大学 臨床腫瘍学
- W9-3 新規の BET 分解薬 K-256 を用いた MYC/BCL2 関連 DLBCL に対する薬効評価**80
江崎 正浩²、田中 健太郎²、森 聖寿²
¹名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学
²協和キリン株式会社

7月4日 (金) 10:00-10:50

第3会場 (北海道大学学術交流会館 1階 第1会議室)

ワークショップ 10

次世代抗体・ADC①

【モデレーター】 坂本 洋 (中外製薬株式会社 研究本部 創薬薬理第一研究部)

- W10-1 Glypican-1 を標的とした抗体薬物複合体と免疫チェックポイント阻害剤の併用投与による相乗的な抗腫瘍効果の検討**.....80
舟嶋 英志¹、世良田 聡²、鈴木 悠地^{1,2}、仲 哲治^{1,2}
¹岩手医科大学 内科学講座 リウマチ・膠原病・アレルギー内科
²岩手医科大学 医歯薬総合研究所 分子病態解析部門
- W10-2 肺扁平上皮癌に対する Glypican-1 を標的とした抗体薬物複合体による新規治療薬開発**81
横山 春彦¹、世良田 聡²、山下 将司¹、鈴木 悠地^{2,3}、仲 哲治^{2,3}
¹岩手医科大学医学部
²岩手医科大学医歯薬総合研究所分子病態解析部門
³岩手医科大学医学部内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科
- W10-3 膠芽腫幹細胞膜タンパク質 EVA1 に対する抗体薬物複合体の開発**.....81
近藤 亨
北海道大学 遺伝子病制御研究所 幹細胞生物学分野
- W10-4 ROSE12 : FcγR 親和性を増強した ATP 依存性抗 CTLA4 抗体の創製と腫瘍選択的な薬効の実証**.....82
道坂 沙貴¹、林 宏樹¹、田中 浩¹、櫻井 実香²
¹中外製薬株式会社研究本部創薬薬理第二研究部
²中外製薬株式会社研究本部バイオ医薬研究部

ワークショップ 11

次世代抗体・ADC②

【モデレーター】 西岡 安彦 (徳島大学 大学院医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野)

- W11-1 受容体型チロシンキナーゼ EphB4 を標的とする新規モノクローナル抗体は乳がんに対して制がん効果を示す82
大石 智一^{1,2}、鈴木 裕之³、大庭 俊一²、吉田 潤次郎¹、立田 大輔¹、田中 智大³、加藤 幸成³、川田 学¹
¹微生物化学研究所 第1生物活性研究部
²微生物化学研究所 沼津支所
³東北大学大学院医学系研究科 抗体創薬
- W11-2 がん特異的抗 HER2 抗体は乳がんに対して高い抗腫瘍効果をもたらす83
加藤 幸成¹、大石 智一²、田中 智大¹、川田 学²、鈴木 裕之¹
¹東北大学大学院 医学系研究科 抗体創薬学分野
²微生物化学研究所 第1生物活性研究部
- W11-3 がん特異的抗ヒト podoplanin 抗体の胸膜中皮腫治療に向けた基礎的検討83
吉田 碧人¹、阿部 真治²、三橋 惇志¹、荻野 広和¹、加藤 幸成³、西岡 安彦¹
¹徳島大学大学院 医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野
²徳島大学大学院 医歯薬学研究部 臨床薬学実務教育学分野
³東北大学大学院 医学系研究科 抗体創薬学分野
- W11-4 トリプルネガティブ乳癌における膜内在型セリンプロテアゼの創薬研究84
松下 洋輔^{1,2}、吉丸 哲郎^{1,2}、片桐 豊雅^{1,2}
¹医薬基盤・健康・栄養研究所 生体機能分子制御プロジェクト
²徳島大学先端酵素学研究所 ゲノム制御学分野

ランチョンセミナー 2-3

1細胞解析からみえてくる腫瘍微小環境

【モデレーター】 矢野 聖二 (金沢大学医薬保健研究域医学系 呼吸器内科学)

LS2-3 1細胞解析からみえてくる腫瘍微小環境

廣橋 良彦

札幌医科大学医学部 病理学講座 病理学第一分野

【共催】 MSD株式会社

ワークショップ 13

免疫療法・細胞療法

【モデレーター】 高橋 俊二 (がん研有明病院ゲノム診療部 総合腫瘍科)

- W13-1 タンキラーゼ阻害剤 RK-582 は腫瘍内免疫微小環境のリプログラミングにより免疫チェックポイント阻害薬の作用を増強する87
中村 彩音^{1,2}、馬島 哲夫¹、森野 峻¹、石本 崇胤³、清宮 啓之^{1,2}
¹がん研・化療セ・分子生物治療
²明治薬科大・院・生命創薬科学
³がん研・研・発がん

- W13-2 免疫排除を構築する細胞外基質成分同定による免疫チェックポイント阻害薬耐性機序の解析.....87
三橋 惇志、吉田 碧人、荻野 広和、尾崎 領彦、塚崎 佑貴、西岡 安彦
徳島大学大学院 医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野
- W13-3 マウスモデルを用いたユーイング肉腫における免疫逃避機構の解析.....88
礒山 翔¹、田中 美和²、旦 慎吾¹
¹ (公財) がん研究会 がん化学療法センター 分子薬理部
² (公財) がん研究会 がん研究所 がんエピゲノムプロジェクト
- W13-4 転移性尿路上皮癌に対するエンホルツマブ ベドチンとペンブロリズマブ併用療法の初期経験88
小笠 大起、永田 政義、井手 久満、堀江 重郎
順天堂大学大学院医学研究科泌尿器科学
- W13-5 シングルセル解析を用いた肝細胞癌に対する複合免疫療法に伴う腫瘍微小環境変化の解明.....89
岩崎 恒、伊藤 心二
九州大学大学院 消化器・総合外科 (第二外科)

7月4日 (金) 15:30-16:25

第3会場 (北海道大学学術交流会館 1階 第1会議室)

ワークショップ 15

低酸素・ストレス応答

【モデレーター】 片桐 豊雅 (医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所)

- W15-1 低酸素応答による YAP-AXL シグナル活性化を介した EGFR 阻害薬耐性の克服を目指した肺がん治療戦略.....92
山田 忠明¹、片山 勇輝¹、康廣 とも子²、小崎 龍平²、細木 誠之³、芦原 英司³、堀中 真野⁴、酒井 敏行⁴
¹京都市立医科大学 大学院 呼吸器内科学
²小野薬品工業株式会社水無瀬研究所 オンコロジー研究センター
³京都薬科大学 生命薬科学系病態生理学
⁴京都市立医科大学大学院医学研究科 創薬医学
- W15-2 SMARCA4 欠損肺腺がんにおける ATR 阻害剤と PARP 阻害剤併用療法の有効性.....92
塩谷 文章
東京医科大学 医学総合研究所 ゲノムストレス応答学部門
- W15-3 乳がん細胞における IRE1 の O 型糖鎖修飾を介した持続的小胞体ストレス適応機構を標的とした新規治療戦略.....93
内山 圭司¹、吉丸 哲郎¹、松下 洋輔¹、植田 幸嗣²、片桐 豊雅¹
¹医薬基盤・健康・栄養研究所 生体機能分子制御プロジェクト
²がん研究会 CPMセンター プロテオミクス解析グループ
- W15-4 膠芽腫における抗アポトーシス Bcl-2 ファミリー阻害と ER ストレス誘導剤の併用効果.....93
黄 天懿^{1,2}、小池 清恵¹、片山 量平^{1,2}、高木 聡¹
¹公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部
²東京大学 大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻
- W15-5 アスパラギン欠乏と統合ストレス応答の阻害による合成致死への耐性機構の解析.....94
岡本 有加^{1,2}、白濱 仁深¹、富田 章弘¹
¹公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部
²東大医科研 ヒトゲノムセンター シークエンス技術開発

ポスター 1

ゲノム・エピゲノム・ゲノム医療

【モデレーター】 高阪 真路 (国立がん研究センター 研究所 細胞情報学分野)

- P1-1 経口デンタビンプロドラッグ OR-2100 は有糸分裂関連遺伝子を低下させ、ダブルヒットリンパ腫に抗腫瘍効果を発揮する.....95**
城戸口 啓介^{1,2}、嬉野 博志^{1,2}、山本 雄大^{1,2}、柳谷 稜^{1,2}、倉橋 祐樹^{2,3}、木村 晋也^{1,2}
¹佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科
²佐賀大学医学部 創薬科学共同研究講座
³大原薬品工業株式会社
- P1-2 DNA 脱メチル化剤による E3 ユビキチンリガーゼ X を介した IKZF1 の分解作用は多発性骨髄腫に対して抗腫瘍効果を示す.....95**
山本 雄大¹、嬉野 博志²、城戸口 啓介^{1,2}、倉橋 祐樹^{2,3}、柳谷 稜²、渡邊 達郎¹、木村 晋也^{1,2}
¹佐賀大学 医学部 血液呼吸器腫瘍内科
²佐賀大学 医学部 創薬科学共同研究講座
³大原薬品工業株式会社
- P1-3 RNA プロファイリングを用いた非喫煙者肺腺がんの新規融合遺伝子の発見と予後予測遺伝子の同定.....96**
寺島 祐樹^{1,2}、田中 伸哉^{2,3}、間野 博行¹、高阪 真路¹
¹国立がん研究センター研究所 細胞情報学分野
²北海道大学 医学研究院 腫瘍病理学教室
³北海道大学 化学反応創成研究拠点
- P1-4 Low-grade diffusely infiltrative tumor, SMARCB1-mutant の分子基盤の解明.....96**
杉野 弘和^{1,2}、田中 伸哉^{1,3,4}
¹北海道大学大学院医学研究院 腫瘍病理学教室
²国立がん研究センター 中央病院 病理診断科
³北海道大学化学反応創成研究拠点
⁴北海道大学病院 病理診断科
- P1-5 膵がん細胞株を用いた DTP 細胞のエピゲノム解析.....97**
丸山 玲緒^{1,2}、宮田 憲一¹
¹がん研究会 がん研究所 がんエピゲノム研究部
²がん研究会 NEXT-Gankenプログラム
- P1-6 RNA 脱メチル化酵素 ALKBH3 の酵素活性阻害化合物による膵がん治療創薬.....97**
山田 麻奈未、北村 穂乃香、辻川 和丈
大阪大学 薬学研究科 細胞生理学分野
- P1-7 日本人の前立腺導管癌における p53 および RB1 免疫染色による遺伝子変異予測能の検討.....98**
小林 裕章¹、小坂 威雄²、西原 広史³、大家 基嗣²
¹防衛医科大学校 泌尿器科学講座
²慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室
³慶應義塾大学医学部 腫瘍センター ゲノム医療ユニット
- P1-8 CBP/p300 同時阻害剤は cBAF 複合体欠損がんにも有望である.....98**
佐々木 麻里子、萩原 秀明
国立がん研究センター 研究所 がん治療学研究分野

ポスター 2

がん代謝・薬剤耐性

【モデレーター】 荻原 秀明 (国立がん研究センター研究所がん治療学研究分野)

- P2-1 7MeERT は PSMD14 を標的とし、がんのエネルギー代謝を抑制する99
 渥美 園子¹、澁谷 正史²、川田 学¹
¹微生物化学研究所 第1生物活性研究部
²上武大学
- P2-2 LINC02154 は頭頸部扁平上皮がんにおいて細胞周期関連遺伝子とミトコンドリア関連遺伝子を制御する99
 新沼 猛¹、北嶋 洋志¹、岡崎 史佳²、鈴木 拓¹
¹札幌医大 医 分子生物
²札幌医大 医 口腔外科
- P2-3 SWI/SNF 欠損がんにおけるグルタチオン代謝の脆弱性に対してグルタチオン阻害剤が有効である ..100
 荻原 秀明、佐々木 麻里子
 国立がん研究センター・研究所・がん治療学研究分野
- P2-4 Drug-tolerant persister 細胞のシスチン代謝変容に基づいた耐性細胞出現の制御100
 野田 智幹^{1,2}、白濱 仁深¹、富田 章弘^{1,2}
¹(公財)がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部
²東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻
- P2-5 ミトコンドリア内 1 炭素代謝酵素 MTHFD1L は乳がんの新規分子標的である101
 楠木 啓主¹、本宮 綱記¹、西村 建徳^{1,2}、竹内 康人¹、後藤 典子¹
¹金沢大学 がん進展制御研究所 分子病態
²名古屋大学大学院 医学系研究科 腫瘍生物学
- P2-6 TELO2 標的療法は悪性ラブドイド腫瘍細胞の増殖を阻害する101
 米澤 穂波¹、氏家 悠貴²、上原 至雅²、西谷 直之²
¹岩手医科大学 薬学部 衛生化学分野
²岩手医科大学 薬学部 情報薬科学分野
- P2-7 滑膜肉腫に対するエリブリンの薬剤耐性の克服方法の検討102
 福田 崇人¹、谷口 寛和^{1,2}、赤城 和優^{1,2}、松尾 緑^{1,3}、竹本 真之輔¹、迎 寛¹
¹長崎大学病院 呼吸器内科
²長崎大学病院 がん診療センター
³長崎大学病院臨床研究センター

ポスター 3

浸潤・転移・細胞外小胞・in vivo薬効評価

【モデレーター】 樋田 京子 (北海道大学大学院歯学研究院 血管生物分子病理学教室)

- P3-1 **HER3/Akt/mTOR 経路を標的とした TNBC 転移抑制の新たな治療戦略**102
 武田 朋也¹、椿 正寛²、源野 秀次³、徳永 健太³、田中 濡美³、西田 升三³
¹大阪大谷大学 薬学部 生化学研究室
²徳島文理大学 香川薬学部 薬物治療学研究室
³近畿大学 薬学部 薬物治療学研究室
- P3-2 **腫瘍関連マクロファージは CCL20-CCR6 軸を介して膀胱癌の転移を促進する**103
 中川 竜之介、泉 浩二、青山 周平、門本 卓、八重樫 洋、溝上 敦
 金沢大学大学院 医学系研究科 泌尿器集学的治療分野
- P3-3 **In vivo selection 早期における肝転移性マウス繊維肉腫細胞株の遺伝子解析と治療標的の探索**103
 平石 鈴¹、小泉 桂一²
¹富山大学 和漢医薬学総合研究所 未病分野
²富山大学 未病研究センター
- P3-4 **血管内皮への作用を介した β 遮断薬のがん転移に与える影響についての検討**.....104
 宗片 勇史^{1,2}、樋田 京子¹
¹北海道大学 大学院歯学研究院 血管生物分子病理学教室
²北海道大学 大学院歯学研究院 口腔診断内科学教室
- P3-5 **Ouabain はがん細胞選択的に細胞外小胞の分泌を阻害する**.....104
 安達 晴喜^{1,2}、小根山 千歳^{1,2}
¹名古屋市立大学大学院 薬学研究科 腫瘍制御学分野
²愛知県がんセンター研究所
- P3-6 **細胞改変したがん細胞由来エクソソームを利用する新たながん治療戦略の開発**.....105
 長谷川 尚哉、飯塚 ひより、川上 浩良
 東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 環境応用化学域
- P3-7 **受精鶏卵の漿尿膜 (CAM) を用いた in vivo モデルによる薬剤の評価系の構築**.....105
 渡部 隆義、増田 達哉、巽 康年、上久保 靖彦
 千葉県がんセンター 研究所 発がん制御研究部

ポスター 4

がん幹細胞・不均一性・腫瘍微小環境

【モデレーター】 石本 崇胤 (公益財団法人がん研究会)

- P4-1** **がん幹細胞生成における腫瘍微小環境の堅さの検討**.....106
 孫 雁鵬^{1,2,5}、津田 真寿美^{1,2,3}、王 磊^{1,3}、田中 伸哉^{1,3,4}
¹北海道大学大学院 医学研究院 腫瘍病理学教室
²北海道大学大学院 生命科学院 病理学教室
³北海道大学 化学反応創成研究拠点 (WPI-ICReDD)
⁴北海道大学病院 病理診断科
⁵旭川医科大学 先進ゲノム地域医療講座
- P4-2** **ハイドロゲルにより誘導した膀胱がん幹細胞の特性解析と治療標的分子の探索**.....106
 王 磊^{1,2}、津田 真寿美^{1,2}、田中 伸哉^{1,2}
¹北海道大学 化学反応創成研究拠点(WPI-ICReDD)
²北海道大学大学院医学研究院 腫瘍病理学教室
³北海道大学病院 病理部/病理診断科
- P4-3** **大腸がんにおける ROR1 高発現 tumor-initiating cells の機能解析と治療標的性の検証**107
 山崎 昌哉、石本 崇胤
 公益財団法人がん研究会 がん研究所 発がん研究部
- P4-4** **ケモカイン受容体会合分子 FROUNT 標的治療による腫瘍内マクロファージサブセット構成の変化** ...107
 遠田 悦子^{1,2,3}、松島 綱治³、寺島 裕也³
¹日本医科大学研究部共同研究施設形態解析研究室
²日本医科大学解析人体病理学
³東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門
- P4-5** **酸性条件下における膵臓がん細胞は Akt のリン酸化の亢進により細胞増殖を維持する**.....108
 山本 頼仁、菅原 英司、細木 誠之、戸田 侑紀
 京都薬科大学 病態生理学分野
- P4-6** **シングルセル・空間トランスクリプトーム統合解析による、尿路上皮がんが免疫排除型の微小環境を形成するメカニズムの解明**.....108
 岩澤 智裕^{1,2}、田中 伸之¹、大家 基嗣¹
¹慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室
²国立がん研究センター研究所 腫瘍免疫研究分野
- P4-7** **膠芽腫幹細胞における Hippo シグナル伝達経路を標的とする膠芽腫治療創薬**.....109
 北村 穂乃香、山田 麻奈未、辻川 和丈
 大阪大学薬学研究科
- P4-8** **腫瘍微小環境を活用した新規作用機序を有する Glypican-1 標的抗体薬物複合体の開発**109
 世良田 聡¹、鈴木 悠地^{1,2}、高橋 剛³、土岐 祐一郎³、仲 哲治^{1,2}
¹岩手医科大学医歯薬総合研究所分子病態解析部門
²岩手医科大学医学部内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科
³大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学

ポスター 5

ケミカルバイオロジー

【モデレーター】 永澤 秀子 (岐阜薬科大学)

- P5-1 細胞内遊離ヘムレベル増強による難治性子宮頸がん細胞の Artesunate 抵抗性の克服.....110
上田 陽子¹、辻 美恵子²、平山 祐²、竹中 基記¹、磯部 真倫¹、永澤 秀子²
¹岐阜大学大学院医学系研究科 産科婦人科学
²岐阜薬科大学創薬化学大講座 薬化学研究室
- P5-2 多発性骨髄腫細胞に対するハイブリッドリポソームのアポトーシス誘導.....110
鬼塚 堯亘、奥村 真樹、後藤 浩一、松本 陽子、市原 英明
崇城大学 大学院工学研究科 応用生命科学専攻
- P5-3 タンパク質 N 末端との位置特異的バイオコンジュゲーションを利用した
ターゲティングリポソームの開発.....111
コノリー 里沙¹、小野田 晃^{1,2}
¹北海道大学大学院環境科学院
²北海道大学地球環境科学研究院
- P5-4 ハイブリッドリポソームの食道がん細胞に対するアポトーシス誘導.....111
高井 洵奈、奥村 真樹、後藤 浩一、松本 陽子、市原 英明
崇城大学 大学院工学研究科 応用生命科学専攻
- P5-5 癌細胞の生体内蛍光分子イメージングを指向し N 末端を位置特異的に蛍光標識した抗体の調製112
前田 侑也¹、小野田 晃^{1,2}
¹北大院環境科学
²北大院地球環境科学
- P5-6 毒性発現種差の大きいモダリティの安全性確保に向けた新規オフターゲット評価法の開発.....112
大岡 伸通
国立医薬品食品衛生研究所

ポスター 6

キナーゼ阻害薬

【モデレーター】 旦 慎吾 (公益財団法人がん研究会がん化学療法センター分子薬理部)

- P6-1 Osimertinib 投与中に薬剤性間質性腎炎を発症した肺腺癌の一例113
寺島 実里、山中 雄太、倉田 宝保
関西医科大学附属病院 呼吸器腫瘍内科学講座
- P6-2 選択的 MET/VEGFR2 シグナル阻害による悪性腹水制御の治療戦略113
安本 和生、桑山 直美、犬嶋 明子
金沢医科大学腫瘍内科学講座
- P6-3 BTK 阻害薬によるクラス効果かつ用量非依存性の血小板コラーゲン凝集抑制作用114
小島 研介
高知大学医学部 血液内科
- P6-4 KRAS G12C 変異陽性肺癌に対する KRAS G12C 阻害剤と EphA2 阻害剤併用療法の有効性評価.114
河内 勇人¹、片山 勇輝¹、堀中 真野²、酒井 敏行²、山田 忠明¹
¹京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学
²京都府立医科大学大学院医学研究科 創薬医学

- P6-5 新規 CDK 阻害剤 Azalamellarin 4 による細胞選択的な抗がん分子機序の解析115
大橋 愛美¹、福田 勉²、岡村 陸美¹、西谷 直之³、且 慎吾¹
¹公財) がん研究会・がん化療セ・分子薬理
²長崎大・工・物質科学・有機生命化学
³岩手医科大・薬・臨床薬学・情報薬科学
- P6-6 Carborane を基盤とする標的タンパク質分解のための疎水性タグシステムの開発115
YUJIE SHAO¹、三浦 一輝^{1,2}、中村 浩之^{1,2}
¹東京科学大学 生命理工学院
²東京科学大学 総合研究院 化学生命科学研究所
- P6-7 IAP-based PROTAC によりリソソーム分解誘導される基質の同定と分解誘導機構の解明116
橋本 創太^{1,2}、築茂 由則³、大岡 伸通³、出水 庸介³、内藤 幹彦^{1,3}
¹東京大学大学院薬学系研究科 タンパク質分解創薬社会連携講座
²東京大学大学院薬学系研究科 蛋白質代謝学教室
³国立医薬品食品衛生研究所

7月3日 (木) 16:40-17:30

ポスター会場 (北海道大学学術交流会館 1階 ホール)

ポスター 7

核酸医薬・ペプチド創薬・発がん機構

【モデレーター】 松井 順二 (エーザイ株式会社)

- P7-1 EGFR 変異によらない肺腺がん治療を目指した新規核酸医薬の開発117
前川 和輝¹、山本 佑樹²、高橋 陵宇²、田原 栄俊²
¹広島大学 薬学部
²広島大学 大学院医系科学研究科 細胞分子生物学研究室
- P7-2 microRNA-1260a 抑制によるヒト口腔扁平上皮癌細胞の増殖阻害効果117
白井 博之、中城 公一、内田 大亮
愛媛大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座
- P7-3 β -catenin を標的とした PPI 阻害ペプチドの *in silico* デザイン118
藤田 陽^{1,2}、出水 庸介^{1,2}
¹横浜市立大学 生命医科学研究科
²国立医薬品食品衛生研究所
- P7-4 微生物由来環状ペプチド phepropeptin D は亜鉛メタロプロテアーゼ ZMPSTE24 を阻害し、細胞増殖抑制活性を発揮する118
清水 史郎¹、岩田 まみ¹、室井 誠²、長田 裕之^{2,3}
¹慶應義塾大学 理工学部 応用化学科
²理化学研究所
³微生物化学研究所
- P7-5 中皮腫における免疫チェックポイント分子 VISTA の機能解析119
井田 梨沙、佐藤 龍洋、向井 智美、関戸 好孝
愛知県がんセンター研究所 分子腫瘍学分野
- P7-6 TMEPAI 遺伝子欠損は消化管腺腫自然発症モデル *Apc* ^{Δ 716/+}マウスにおける消化管腺腫形成を抑制する119
中野 なおこ¹、武藤 誠²、伊東 進¹
¹昭和薬科大学薬学部生化学研究室
²医学研究所北野病院
- P7-7 TGF- β /Smad3 により発現誘導される TRIB1 は MAP キナーゼ経路の活性化と C/EBP α の分解により肺がん細胞の悪性を促進する120
横山 隆志¹、齋藤 正夫²、宮澤 恵二¹
¹大学院総合研究部 医学域 生化学講座第2教室
²山梨大学 医学部 総合医科学センター

- P7-8 非コード RNA の短い open reading frame から翻訳される大腸がん関連マイクロプロテインの探索120
北嶋 洋志、新沼 猛、鈴木 拓
札幌医科大学 医学部 分子生物学講座

7月3日 (木) 17:30-18:20

ポスター会場 (北海道大学学術交流会館 1階 ホール)

ポスター 8

免疫療法・細胞療法・新規抗がん戦略

【モデレーター】 大家 基嗣 (慶應義塾大学医学部泌尿器科)

- P8-1 Lenvatinib + Pembrolizumab 後にロボット支援腹腔鏡下腎摘出術を施行し
Pathological CR となった転移性腎細胞癌の 1 例.....121
木村 僚喜、高橋 慶至、小笠 大起、永田 政義、堀江 重郎
順天堂大学大学院医学研究科 泌尿器外科学
- P8-2 転移進行性腎細胞がんへの薬物療法後の Deferred cytoreductive nephrectomy の
有効性の検討.....121
高橋 慶至¹、永田 政義¹、小笠 大起¹、水島 和彦²、三戸 統¹、田中 康就¹、小島 有智¹、堀江 重郎¹
¹順天堂大学医学部附属順天堂医院 泌尿器科
²順天堂大学医学部附属練馬病院 泌尿器科
- P8-3 小細胞肺癌への形質転換をきたした EGFR 遺伝子変異陽性肺腺癌に対して
抗 PD-1 抗体薬が長期奏効した一例122
川中 雄介¹、米阪 仁雄¹、坂井 和子²、西尾 和人²
¹近畿大学 医学部 内科学教室 腫瘍内科部門
²近畿大学 医学部 ゲノム生物学教室
- P8-4 進展型小細胞肺癌における B7-H3、DLL3 発現と抗 PD-L1 抗体の治療効果の関連122
黒崎 隆^{1,2}、金村 宙昌¹、川中 雄介^{1,3}、中川 和彦^{1,4}
¹近畿大学医学部内科学教室腫瘍内科部門
²和泉市立総合医療センター腫瘍内科
³岸和田市民病院腫瘍内科
⁴近畿大学病院がんセンター
- P8-5 免疫チェックポイント阻害薬の薬剤性腎障害に対する後ろ向きコホート研究.....123
三好 悠斗¹、堀江 重郎²
¹順天堂大学医学部附属練馬病院泌尿器科
²順天堂大学大学院医学研究科 泌尿器外科学
- P8-6 XPO1 阻害剤は O-GlcNAc 修飾が亢進した中皮腫細胞に対して抗腫瘍効果を示す123
向井 智美、佐藤 龍洋、井田 梨沙、関戸 好孝
愛知がんセ・研・分子腫瘍
- P8-7 放線菌ゲノムにコードされる CD73/アデノシン経路阻害ペプチドの機能解明124
小野寺 威文、百瀬 功
(公財)微生物化学研究会 微生物化学研究所 沼津支所
- P8-8 膀胱全摘除術の周術期大建中湯内服症例における腸閉塞の発生因子の検討124
家田 健史、池端 嘉裕、永田 政義、井手 久満、堀江 重郎
順天堂大学大学院医学研究科泌尿器科学

ポスター 9

次世代抗体・光線力学療法・核医学治療

【モデレーター】 森 聖寿 (協和キリン (株) 研究本部)

- P9-1 **ゲムシタビン耐性膵臓癌に対する Glypican-1 を標的とした抗体薬物複合体による新規治療薬開発**125
清水 和旗¹、世良田 聡²、鈴木 悠地^{2,3}、仲 哲治^{2,3}
¹岩手医科大学医学部
²岩手医科大学医歯薬総合研究所分子病態解析部門
³岩手医科大学医学部内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科
- P9-2 **頭頸部扁平上皮癌に対する Glypican-1 を標的とする抗体薬物複合体の効果の検証**125
加藤 琉威¹、世良田 聡²、山下 将司¹、横山 春彦¹、鈴木 悠地^{2,3}、仲 哲治^{2,3}
¹岩手医科大学 医学部
²岩手医科大学 医歯薬総合研究所 分子病態解析部門
³岩手医科大学医学部内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科
- P9-3 **がんスフェロイドを用いた抗体薬物複合体 (ADC) 感受性試験の開発**126
竹村 幸敏
京ダイアグノスティクス株式会社
- P9-4 **より高い光反応効率を有する新規光免疫療法薬剤の開発**126
後藤 悠人、中島 孝平、小川 美香子
北海道大学大学院 薬学研究院
- P9-5 **ASP-1929 を用いた光免疫療法の婦人科悪性腫瘍における適用可能性の検討**127
山本 竜太郎¹、畑中 佳奈子²、朝野 拓史¹、四宮 義貴²、渡利 英道¹、畑中 豊²
¹北海道大学病院産科
²北海道大学病院 先端診断技術開発センター
- P9-6 **α線標識薬剤 ²¹¹At-MABG の細胞障害性と免疫応答に関する検討**127
飯田 敬太¹、向峯 あかり²、中島 孝平³、小川 美香子^{2,3}
¹北海道大学 薬学部
²北海道大学 化学反応創成研究拠点
³北海道大学 大学院薬学研究院
- P9-7 **リガンド連結型光増感剤を基盤とするがん分子標的型光線力学療法の創出**128
三浦 一輝、中村 浩之
東京科学大学 総合研究院 化学生命科学研究所
- P9-8 **インドシアニングリーン含有ハイブリッドリポソームの光線力学的療法によるトリプルネガティブ乳がん治療**128
大塚 ひなの、奥村 真樹、後藤 浩一、松本 陽子、市原 英明
崇城大学 大学院工学研究科 応用生命科学専攻

ポスター 10

薬剤耐性・感受性

【モデレーター】 園下 将大 (北海道大学 遺伝子病制御研究所)

- P10-1 ALK 陽性肺がん二次治療における Zotizakib、Gilteritinib、Neladalkib 耐性変異の予測**.....129
 武井 祐樹¹、土井 雄太¹、仙波 憲太郎^{1,2}
¹早稲田大学 先進理工学研究所 生命医科学専攻
²福島県立医科大学 TRセンター
- P10-2 IFITM3-MET 相互作用が AKT 経路の活性化を介して EGFR 変異陽性肺癌のオシメルチニブ耐性を誘導する**.....129
 指宿 立¹、岩間 映二¹、堤 央乃²、中西 喬之³、田中 謙太郎⁴、岡本 勇¹
¹九州大学大学院 医学研究院 呼吸器内科学分野
²福岡東医療センター 呼吸器内科
³済生会福岡総合病院 呼吸器内科
⁴鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器内科学分野
- P10-3 オキサリプラチンは KRAS 変異大腸癌細胞において KRAS/ERK/NF- κ B 経路の活性化を介して EMT を促進する**.....130
 椿 正寛¹、西田 升三²
¹徳島文理大学香川薬学部薬物治療学講座
²近畿大学薬学部
- P10-4 Gemcitabine 耐性ヒト膵臓がん BxPC-3 細胞の 5-Fluorouracil 感受性化機構の解析**.....130
 小林 裕輝¹、原(住井) 遥^{1,2}、佐藤 聡¹
¹東京理科大学 薬学部 生化学・分子生物学研究室
²国立病院機構 福山医療センター 薬剤部
- P10-5 ヒト大腸がん細胞における核酸代謝経路の調節を介した 5-Fluorouracil 耐性化機構**.....131
 佐藤 聡
 東京理科大学 薬学部 生化学・分子生物学研究室
- P10-6 MYC シグナル伝達は中皮腫細胞において TEAD 阻害剤に対する耐性を付与する**.....131
 佐藤 龍洋、井田 梨沙、向井 智美、関戸 好孝
 愛知がんセ 分子腫瘍
- P10-7 メチル化による SLC46A3 発現低下が胃がん細胞 N87 の T-DM1 感受性に与える影響**.....132
 山岡 利光、鶴谷 純司
 昭和医科大学 先端がん治療研究所
- P10-8 MNK 阻害剤/HDAC 阻害剤併用によるオートファジー制御型がん治療の新戦略**.....132
 外村 奈夕、永井 夏鈴、尾崎 恵一
 同志社女子大学 薬学部 病態分子制御学